

安曇野市水道ビジョン

計画期間：平成29年度～令和8年度

令和3年度 事業評価報告書

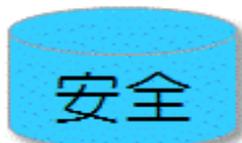
令和4年9月

安曇野市 上下水道部

安曇野市水道ビジョンの基本目標と基本方針について

厚生労働省では、時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道を理想像として掲げています。

安曇野市の水道も将来像の実現に向けて、様々な課題の解決に取り組むため、その取り組みの目指す方向性を次のように定めています。



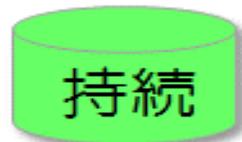
いつ飲んでも安全な水道

いつでもどこでも、安全に飲める水道を目指します。



災害に強く、しなやかな水道

自然災害等で被災した場合でも、迅速に復旧できる水道を目指します。



いつまでも地域にあり続ける水道

給水人口や給水量の減少に対しても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道を目指します。



皆様に信頼され、共につくる水道

多様化するニーズに応え、世代を超えて利用される水道を目指します。

安曇野市水道ビジョンの施策体系について

基本理念

清らかで良質な水をいつまでも
～信頼を未来へつなぐ安曇野の水道～

基本目標	主要施策	実現方策
安全 いつ飲んでも 安全な水道	<ul style="list-style-type: none"> 水源から蛇口までの徹底した水質管理 	<ol style="list-style-type: none"> 1 水質検査結果の適切な把握と関係機関との連携 2 水安全計画の策定 3 水質事故発生時の行動マニュアルの作成 4 水道管内の点検と洗浄 5 濁度計の設置
強靱 災害に強く、 しなやかな 水道	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い施設の整備 バックアップシステムの構築 危機管理体制の充実強化 	<ol style="list-style-type: none"> 1 指定避難所等重要給水施設への給水ルートの耐震化 2 非常用電源設備の整備 3 他水源からの配水が可能となる施設整備 4 防災訓練の実施 5 震災等を想定した災害対策マニュアルの作成
持続 いつまでも 地域にあり 続ける水道	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な施設更新と規模の適正化 経営基盤の強化 未普及地域への対応 	<ol style="list-style-type: none"> 1 老朽管の計画的な更新と漏水調査の実施 2 水源施設の老朽化診断 3 アセットマネジメントの実践 4 施設の統廃合やダウンサイジングの検討 5 人口減少地域における消火施設のあり方の検討 6 水道料金水準の適正化の検討 7 水道への切り替えの推進
信頼 皆様に信頼さ れ、共につく る水道	<ul style="list-style-type: none"> 利用者とのコミュニケーションの充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報公開の充実 2 施設見学会の実施 3 水道利用者のニーズの把握

令和3年度の水道ビジョン進捗状況を

点検・評価しました。

□点検評価基準

昨年同様、以下の基準により点検・評価を行いました。

- 例：令和3年度末の「濁度計の設置」
- ・20箇所（100%）設置が最終目標値
 - ・中間年である令和3年度末の目標値は66%（12か所）
 - ・平成29年度～令和3年度末までに12箇所設置
 - ・実績率は12箇所/20箇所で60%（小数点切捨て）
 - ・ $60\% \div 66\% \times 100 \div 90\%$

評価基準		
達成率	評価	
95%以上	A	目標どおり
95%未満 85%以上	B	目標をやや下回る
85%未満	C	目標を下回る

定量的な評価が難しい項目について

達成率について、定量的な評価が難しい項目は下記一覧表で「空欄（目標値備考欄：定量困難）」となっていますが、以下の要領で評価します。
 「具体的に〇〇に取り組んだ。」 「予定していた事業を完了し、予定どおりの成果が出ている。」場合は「A」
 「〇〇を検討している。」 「取組を開始している。」場合は「B」
 「未着手」の場合は「C」。

(単位：%)

実施方策	年次毎目標値②（水道ビジョン方策数値年度按分）										目標値備考	策定時 数値 a	中間 目標値 b	最 終 目標値 c	ビジョン 掲載 ページ		
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目							
	H29度	H30度	R元度	R2度	R3度	R4度	R5度	R6度	R7度	R8度							
安全	20件											定量困難				34	
	1	水質検査結果の適切な把握と関係機関との連携										進捗率	0	100	100		
	2	水安全計画の策定	-	50	100	-	-	-	-	-	-	進捗率	0	100	100		
	3	水質事故発生時の行動マニュアルの作成	-	50	100	-	-	-	-	-	-	進捗率	0	100	100		
	4	水道管内の点検と洗浄										定量困難					
強靱	1	指定避難所等重要給水施設への給水ルートの耐震化	-	27.98	33.45	38.93	44.4	49.88	55.36	60.84	66.32	71.8	耐震化率	22.5	44.4	71.8	39
	2	非常用電源設備の整備	-	-	-	-	25	-	43.75	62.5	81.25	100	整備率	25	25	100	
	3	他水源からの配水が可能となる施設整備	-	33.33	66.67	100	-	-	50	100	-	-	整備率	-	-	-	
		(1) 豊科・明科地域整備事業	-	33.33	66.67	100	-	-	-	-	-	-	整備率	-	100	100	
		(2) 穂高豊里整備事業	-	-	-	-	-	-	50	100	-	-	整備率	-	-	100	
4	防災訓練の実施											定量困難					
持続	1	老朽管の計画的な更新と漏水調査の実施	78.64	79.38	80.12	80.86	81.6	82.36	83.12	83.88	84.64	85.4	進捗率	0	100	100	42
	2	水源施設の老朽化診断（14か所）	21.4	42.8	64.2	78.4	92.6	100	-	-	-	-	有収率	77.9	81.6	85.4	
			3/14	3/14	3/14	2/14	2/14	1/14						調査率	0	92.9	
	3	アセットマネジメントの実践											定量困難				
	4	施設の統廃合やダウンサイジングの検討	-	-	50	-	75	100	-	-	-	-	進捗率	0	75	100	
		(1) 豊科・明科地域整備事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	進捗率	-	-	-	
		(2) 明科潮沢系施設の再構築	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	進捗率	-	-	-	
5	人口減少地域における消化施設のあり方の検討											定量困難					
6	水道料金水準の適正化の検討	-	-	100								定量困難					
7	水道への切替えの推進					99.6					100	普及率	99.3	99.6	100		
信頼	1	情報公開の充実										定量困難				44	
	2	施設見学会の実施										定量困難					
	3	水道利用者のニーズの把握										定量困難					

安曇野市水道ビジョンの令和3年度施策の点検評価結果

1 令和3年度施策の点検評価結果の概要

実現方策16件のうち来年度以降の施策1件を除く15件について評価した結果、A評価9件、B評価3件、C評価3件となった。C評価の施策については、課題を解消し目標達成を目指す。

2 基本方針別の評価結果と今後の課題・方向性

(1)安 全

・徹底した水質検査により安全性を確認することができた。今後も適切な水質管理を行う。

(2)強 靱

・耐震化(主要管路整備)目標達成には至っていないが、引き続き整備を行っていく。今後は市街地における施工を伴うため、入念な給水ルートの確認が必要である。

・防災訓練の実施については、2年度は中止、3年度はメール配信による通信確保訓練のみとなっている。今後は、訓練方法及び内容等を検討し実施する。

(3)持 続

・施設更新と規模の適正化について、おおむね順調に進んでいる。

・水源施設の老朽化診断において、おおむね順調に進んでおり、令和4年度終了予定。

・「人口減少地域における消火施設のあり方の検討」、「水道への切替えの推進」に関しては、引き続きの対応を行う。

(4)信 頼

・既に水道は普及浸透しているため、利用に関する要望は多く寄せられないが、水道に対するニーズ等の把握のためアンケートを実施しサービス向上を図る。

・水質検査結果や水道事業会計の財務状況など情報発信を行っている。引き続き水道の大切さを理解してもらうために利用者とのコミュニケーションの充実を図る。

水道ビジョン点検・評価シート

基本理念：清らかで良質な水をいつまでも

【計画期間：平成29年度～令和8年度】

上水道

基本目標	ページ	主要施策	実現方策 (計画期間)	最終目標値	R2までの 実績率	令和3年度								
						単年度目標	単年度実績	年次 目標値	最終目標値 に対する 実績率①	達成率	評価	コメント欄		
安全 いつ飲んでも安全な水道	34	水源から蛇口 までの徹底した 水質管理	1 水質検査結果の適切な把握と関係機関との連携 (H29～ R8)	—	—	①水質検査の公表を毎月更新する。 ②水質異常の際は関係機関へ即座に水質検査の実施を依頼する。 ③畑作地帯の水源水質結果の推移を確認する。	①毎月実施できた。 ②関係機関との連携は問題なく実施できた。 ③水質検査の結果、数値はすべて基準値以内であった。	定量的な 評価が 困難な 項目	—	—	A	成果 水質検査により水道の安全性を確認できた。	課題 特になし。	今後の方向性 引き続き水質検査結果の推移を確認していく。
			2 水安全計画の策定 (H30～ R2)	100% ※毎年度確認し、必要により改訂予定	100%	令和2年度策定完了								
			3 水質事故発生時の行動マニュアルの作成 (H30～ R2)	100% ※毎年度確認し、必要により改訂予定	100%	令和2年度作成完了								
			4 水道管内の点検と洗浄 (H29～ R8)	—	—	豊科地域でカメラ調査業務と洗管業務を実施する。	11箇所カメラ調査を行い、比較的付着物や堆積物の多かった2路線について洗管を実施した。	定量的な 評価が 困難な 項目	—	—	A	成果 配水管内の洗浄を行い、付着物や堆積物の除去ができた。	課題 場所によって断水が難しかったり、仮設の費用が大きくなってしまふ。	今後の方向性 濁りの問題以外の、水質の苦情があるような系統の調査や洗管についても検討をしていく。
			5 濁度計の設置 (H30～ R8)	100%	50%	上原第4水源に1基設置する。	上原第4水源に濁度計を設置した。	整備率 66.0%	60%	91%	B	成果 上原配水池系統に対して濁度対策が進んだ	課題 設置費用が高額のため、中長期的な設置計画の見直しを要す。	今後の方向性 設置箇所の見直しを検討する。

基本目標	ページ	主要施策	実現方策 (計画期間)	最終目標値	R2までの 実績率	令和3年度					コメント欄	
						単年度目標	単年度実績	年次目標値	最終目標値 に対する 実績率①	達成率		評価
強靱 災害に強く しなやかな水道	39	災害に強い施設の整備	1 指定避難所等重要給水施設への給水ルート の耐震化 (H30～ R8)	71.8%	33.1%	主要管路整備 豊科・穂高・三郷 L=3,006.8m	主要管路整備 豊科 L=306.9m 穂高 L=1,867.2m 三郷 L=826.5m 計L=3,000.6m (3.0m) 当初耐震化率22.5% 9.2km (H30～R3) 14.6km (整備前) 46.45km(ビジョン期間目標値) 64.7km (目標値)	44.40%	36.8%	83%	C	<p>成果</p> <p>水源から拠点配水池に接続している導水管、災害時の避難所や病院等の重要給水施設と拠点配水池を結ぶ給水ルートの耐震化を、計画どおり進めることができた。</p> <p>課題</p> <p>穂高(上原)三郷(上長尾)地域の管路布設を進めている。今後市街地内へ施工範囲が移り公共用施設敷地内への管路埋設を行う箇所もあることから、占用箇所の埋設物調査を行い管路計画及び施工を慎重に行う必要がある。</p> <p>今後の方向性</p> <p>予定どおり順次耐震化を進めていく。</p>
			2 非常用電源設備の整備 (R5～ R8)			令和7年度以降						
	バックアップシステムの構築	3 他水源からの配水が可能となる施設整備 (豊科・明科地域整備事業分 H29～R2) (穂高豊里整備事業分 R4～R6)			—	令和2年度(R3.3月)に完了済。	定量的な評価が困難な項目				A	<p>成果</p> <p>豊科・明科地域整備事業は令和2年度に完了し、引き続き穂高豊里整備事業について、設計調査等を令和4年度から着手。</p> <p>課題</p> <p>—</p> <p>今後の方向性</p> <p>穂高豊里整備事業に関しては、令和4年度から着手。</p>
			4 防災訓練の実施 (H29～ R8)	10回	3回	最低年1回は実施。		コロナ禍であったため、実施できなかったが、メール配信による通信確保訓練を行った。				C
	39	危機管理体制の充実強化	5 震災等を想定した災害対策マニュアルの策定 (R元) 経営管理課	100% ※毎年度確認し、必要により改訂予定	100%							令和元年度策定完了

基本目標	ページ	主要施策	実現方策 (計画期間)	最終目標値	R2までの 実績率	令和3年度					コメント欄		
						単年度目標	単年度実績	年次目標値	最終目標値 に対する 実績率①	達成率		評価	
持続 いつまでも地域にあり続ける水道 1 / 2	42	計画的な施設更新と規模の適正化	1 老朽管の計画的な更新と漏水調査の実施 (H29～R8)	85.4%	80.1%	配水管(老朽)布設替工事 路線L=3,014m見込。 豊里C地区・宮城低区配水系の漏水調査を実施する。	14路線L=4,511.2m実施。予定箇所 の精算により実施。 配水管延べ41km及び給水管の漏水調査 を実施した。 計10箇所の漏水確認後、漏水修繕 を実施した。	有収率 81.6%	79.00%	97%	A	成果 当初見込みの配水管布設替予定箇所の実施と延長の精査により、緊急性の高い漏水多発箇所の対応が迅速に行うことができた。 課題 老朽管の計画的な布設替は重要だが、他の事業と並行して実施していくので、施工延長を伸ばすことが難しい。漏水調査は、漏水発生箇所を中心に進めていくが調査範囲の絞り込みが容易でない。 今後の方向性 今後も漏水調査と老朽管の布設替を並行実施し、有収率の向上を図る。	
			2 水源施設の老朽化診断 (H29～R4)	100%	64.0%	耐用年数を経過した井戸2箇所の調査を実施する。	上長尾第1水源地と堀金第2水源地の2箇所で調査を実施した。	調査率 92.9%	92.3%	99%	A	成果 上長尾第1水源地は調査に併せて揚水試験も行い、当面改修の必要はないことが確認できた。堀金第2水源地は今後継続的に調査が必要であり、揚水管や井戸ポンプの改修も検討の必要があることが確認できた。 課題 水源が少ない配水系の場合、数日間井戸を停止してのカメラ調査ができない。 今後の方向性 -	
			3 アセットマネジメントの実践 (H29～R8)	-	-	①布設(替)するすべての 铸铁管にポリスリーブ巻 を行う。 ②更新については、設備 投資計画及び目標値を 設定し更新する。	①布設(替)するすべての 铸铁管にポリスリーブ巻 を施工。 ②設備投資計画及び目標 値に基づき翌年度の実 施計画を策定済み。	定量的な 評価が 困難な 項目	-	-	-	B	成果 ポリスリーブ巻は铸铁管すべてにおいて実施。投資計画に基づく次年度 施工予定箇所については、事前設計を行い効率的に発注し施工できた。 課題 実施計画による工事発注をする中で、漏水事案等による突発的な施工順 位の変更への対応が容易でない。 今後の方向性 投資計画に基づく実施計画を進め効率的に老朽管の更新を進める。
			4 施設の統廃合やダウンサイジングの検討 (豊科・明科地域整備事業分 H29～R2) (明科潮沢系施設の再構築 R5～R6)	-	-	-	令和2年度に豊科・明科地域整備 事業の整備が完了した。 事業内容の再検討を含め、令和5 年度からの実施に期間を変更した い。	定量的な 評価が 困難な 項目	-	-	-	A	成果 豊科・明科地域整備事業は令和2年度に事業完了となった。 引き続き、明科潮沢系施設の再構築について検討を進める。 課題 - 今後の方向性 明科潮沢系配水施設整備事業に関しては再検討を含め、令和3年度から の計画を令和5年度へと変更したい。
			5 人口減少地域における 消火施設のあり方の 検討 (H29～R3)	-	-	地域住民と防災担当と協議 体制の構築。	防災担当部局と検討を進める。	定量的な 評価が 困難な 項目	-	-	-	B	成果 - 課題 防火水槽の設置には、広い土地が必要になり設置が難しい。 今後の方向性 地域住民と市の防災担当(危機管理課)と協議し必要箇所があれば対応 していく。

水道ビジョン点検・評価シート

基本理念：清らかで良質な水をいつまでも

【計画期間：平成29年度～令和8年度】

上水道

基本目標	ページ	主要施策	実現方策 (計画期間)	最終目標値	R2までの 実績率	令和3年度					コメント欄	
						単年度目標	単年度実績	年次目標値	最終目標値 に対する 実績率①	達成率		評価
持続 いつまでも地域にあり続ける水道 2 / 2	42	経営基盤の強化	6 水道料金水準の適正化の検討 (H29～R8) 経営管理課	100%	100%	令和元年度水道料金統一						
		未普及地域への対応	7 水道への切替えの推進 (H29～R8)	-	-	水道普及率が水道ビジョン策定時に99.3%と高数値であり、ほぼ普及している状況であるため、接続要望相談の際は個別に対応を行う。併せて、水質検査結果を市ホームページで公開。	-	定量的な評価が困難な項目	-	-	A	成果 - 課題 - 今後の方向性 -
信頼 皆様に信頼され、共につくる水道	44	利用者とのコミュニケーションの充実	1 情報公開の充実 (H29～R8)	-	-	安曇野市ホームページで毎月水質検査結果を更新する。 安曇野市ホームページで公営企業予算・決算、経営比較分析表を公開する。	安曇野市ホームページで毎月水質検査結果を更新した。 安曇野市ホームページで公営企業予算・決算、経営比較分析表を公開した。	定量的な評価が困難な項目	-	-	A	成果 水質状況や経営状況を的確に発信できた。 課題 よりわかりやすい広報のため、内容の充実が必要。 今後の方向性 水質検査、経理関係の情報公開は継続して実施を行う。子供向けコンテンツの充実を図る。
			2 施設見学会の実施 (H29～R8)	-	-	公開講座、地域からの要望により施設見学会を開催する。(年1回)	小学生を対象に施設見学会を実施し、水の大切さや市の水道状況について説明した。地域住民からの見学の要望がなく、地域住民への施設見学を開催することはできなかった。	定量的な評価が困難な項目	-	-	C	成果 小学校の説明会は、6つの小学校に実施した。 課題 安曇野市は地下水利用のため、浄水場等の施設が無く、見学するにも短時間で終わってしまう。 今後の方向性 今後も小学生を対象とした施設見学を実施していく。
			3 水道利用者のニーズの把握 (H29～R8)	-	-	市民意識調査に「水道について」の設問内容を加えて、年度末までにアンケート調査を実施する。	令和4年度3月に市民意識調査を実施した。	定量的な評価が困難な項目	-	-	A	成果 「水道水について」5項目の質問についてアンケートを実施しました。 課題 市民意識調査に合わせての実施になるので、設問数が限られる。設問内容の優先順位もよく検討したい。 今後の方向性 今後も市民意識調査に合わせて実施していきたい。

令和3年度 水道事業会計の財政計画と決算比較表

単位:千円、税抜

収益的収支		財政計画 A	R3決算額 B	比較 B-A	説明
収入	1 営業収益	1,872,658	1,862,859	▲ 9,799	
	うち給水収益	1,724,073	1,700,251	▲ 23,822	人口及び給水量減少による減
	2 営業外収益	279,751	274,303	▲ 5,448	定期預金の金利低下による減
	うち長期前受金戻入	270,628	271,732	1,104	
	3 特別利益	0	0	0	
収入計 ①		2,152,409	2,137,162	▲ 15,247	
支出	1 営業費用	1,651,357	1,643,452	▲ 7,905	委託料等の削減による減
	うち減価償却費	1,063,884	1,055,170	▲ 8,714	建設改良費等の削減による減
	2 営業外費用	116,930	108,462	▲ 8,468	
	うち支払利息	113,953	107,287	▲ 6,666	企業債利息
	支出計 ②	1,768,287	1,751,914	▲ 16,373	
経常損益 ①-②		384,122	385,248	1,126	

単位:千円、税込

資本的収支		財政計画 A	R3決算額 B	比較 B-A	説明
収入	1 企業債	263,000	0	▲ 263,000	建設改良費等の削減による借入額減
	2 他会計出資金	0	0	0	
	3 補助金	0	46,274	46,274	補助対象事業の増
	4 工事負担金	28,965	32,886	3,921	
	5 その他(分担金)	42,623	54,450	11,827	加入分担金の増
	収入計 ①	334,588	133,610	▲ 200,978	
支出	1 建設改良費	1,191,559	713,836	▲ 477,723	事業削減による減
	2 企業債償還金	597,578	596,412	▲ 1,166	借入額の減
	支出計 ②	1,789,137	1,310,248	▲ 478,889	
資本的収入が支出に不足額 ①-②		▲ 1,454,549	▲ 1,176,638	277,911	
補填 財源	損益勘定留保資金	1,015,042	767,344	▲ 247,698	
	建設改良積立金	350,000	350,000	0	
	消費税調整額	89,507	59,294	▲ 30,213	
	計	1,454,549	1,176,638	▲ 277,911	
年度末補填財源残高		1,767,925	2,280,799	512,874	
企業債残高		5,407,593	5,025,227	▲ 382,366	

※水道ビジョン掲載ページ 52~53ページ